

その他の鉄鋼業におけるはさまれ巻き込まれ災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	18~19	会社内にてクレーンから鉄板（3000×500mm）を降ろす作業中、台木を揃えていたところ誤って左手人差し指を鉄板と台木の間にはさまれ負傷した。	26~	19
2	13~14	当社工場内にて、鉄筋を機械で切断していた時、鉄筋がはねた為、切断機と鉄筋の間に左手を挟まれ負傷したものである。	42~	30~49
2	19~20	コンベアーに挟まれた材料を取ろうとして、コンベアに右手中指が挟まれた。	41~	10~29
3	3~4	スリット加工にて、母材のTOPから約1mの位置を2名で持ち上げ、テンションリールの上部へ誘導していたとき、1名は母材の先端がテンションリールにあたると同時に手を放したが、もう1名は手を放すのが遅れ、製品とスロープの間に右手中指を挟まれ被災した。	19~	50~99
4	8~9	プレス機の送り台が機械から出てきたとき、ゴミがある事に気が付き、送り台の下に足を入れて取りはらおうとした。トラテープの内側で送り台が動いていたときに右足を踏み入れてしまい、送り台に当たり、送り台の力で押し戻され、手前の鉄板との間に挟まれた。	28~	30~49
5	9~10	会社第三作業場で、粉碎・破砕用ドラムローラー部にて指を挟まれ、右示指・中指・環指挫滅創を負った。	48~	10~29

6	20～ 21	工場のベルトコンベアー試運転時、裏ベルトに異物があるのを発見したため、安全柵を外して異物を取り除こうとした際に、ベルトに接触して右手を挟まれた。不具合発生のため運転を停止して処置を行った後、試運転を実施した時のものである。	22	～ 99
7	17～18	丸型の鋼材（長さ約3m・直径11cm）をベルトコンベアーからホイストクレーンで吊り、引き上げ回収する際に、振り子のようにになった鋼材の角とベルトコンベアーの突出部分との間に指が挟まり、裂傷・骨折した。	41	～ 49
7	10～11	社内でシャーリング加工中、人差し指を挟み負傷した。	65	～ 29
7	8～9	約15kgの鉄の板状の部品にサンダーで表面を研磨していた際、裏面の研磨作業をしようと裏返しにしようとしたところ、作業土台と板上の部品の上に左手を挟んでしまい中指第一関節を負傷した災害である。	57	～ 49
7	14～ 15	工場内にて、4mシャーリングで加工中、板押さえパッドが取れたので、機械を停止し取り付けたあと、寸動動作にて2～3回機械を動かし、取り付け確認を全員で見ていたときに、被災者が誤って右から1番目の板押さえに左手を差し出したため、板押さえにより左手中指が機械に挟まり受傷した。なお、そのときに軍手は着用していた。	24	～ 99
7	14～ 15	工場内B棟丸棒剪断プレスラインにて、丸棒送りモーターの交換作業を手伝っていた。モーターとチェーンの動きをチェックするための試運転中に、モーターに無意識に手を近づけてしまい、装着していた皮手袋ごと巻き込まれた。その際に、右手の薬指を挟まれて負傷した。	34	～ 29
9	11～ 12	構内において、スクラップをレッカー車の荷台に載せる作業をしていた。その作業中、担当の被災労働者が担当者に対し、開始の合図を間違えてしまい、右手がワイヤーとスクラップとの間に挟まった状態で巻き上がり、薬指を骨折した。	34	～ 29
9	11～ 12	本社工場でVベルトの亀裂発熱を点検中、目を逸らした際誤ってモーターから繋がっているVベルトとVプーリーとの間に、右手指先を挟んでしまった。	42	～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html